

絶対

知ってる



絶対
知られたく
ない

Please do not share
with any third party.
(第三者へ共有しないでください)





隊長は女神にも
等しい

使命に燃える彼女を
支えて生きよう

その高潔な魂が放つ
光に触れていたい
…そう願ったはずが



頭の中では
欲しいままに
触れて

暴いている

——こんな気持ちは
絶対に

知られてはいけない

ゆっくりして
いってくれ

どうだ？

昨日届いた
ばかりだよ

ああ：
私は好きだな

仕事仲間として
のみならず
友人としても
時間を持ってくれる



きっと
気に入ると
思ったんだ

いつでも
見にきたら
いい



隊長の親愛と
信頼に足る
人間でありたい



なのに
抑えきれない



望まぬ行為に
悲嘆にくれる顔は
見たくない

自分に都合よく
快楽に悦ぶ顔も
想像できない



声も聞こえない

その代わりと
言っではなんだが



君とセックスしてみたい！



俺もないんだが



私は経験がなくて…

ダメだろうか？

前々から頼んでみようと
考えていたんだ



なんだって？

君とセッ

いや聞こえてる





……隊長は常に
向上心のある人だ



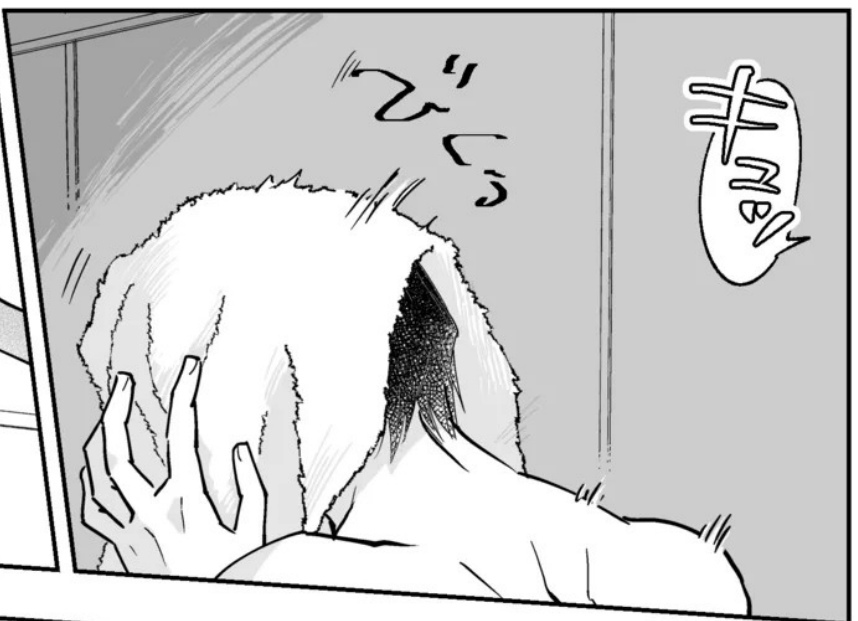
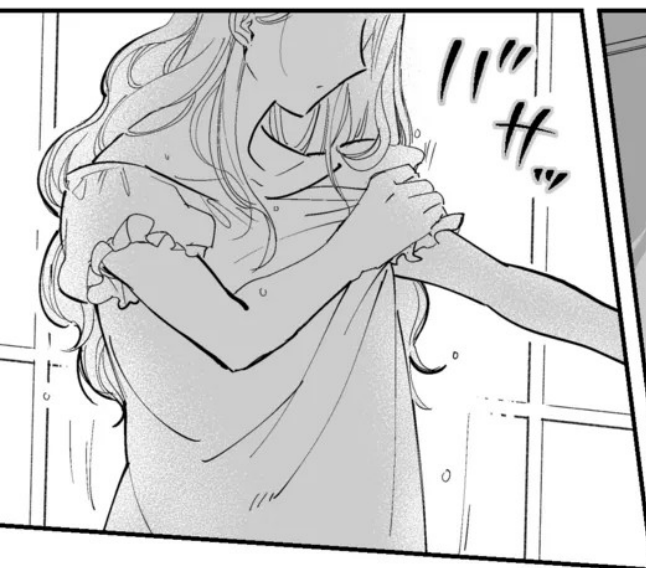
今回のことも
知見を広めようと
恐れず飛び込んで
経験を積もうというのだ

後腐れない
わきまえた相手と……



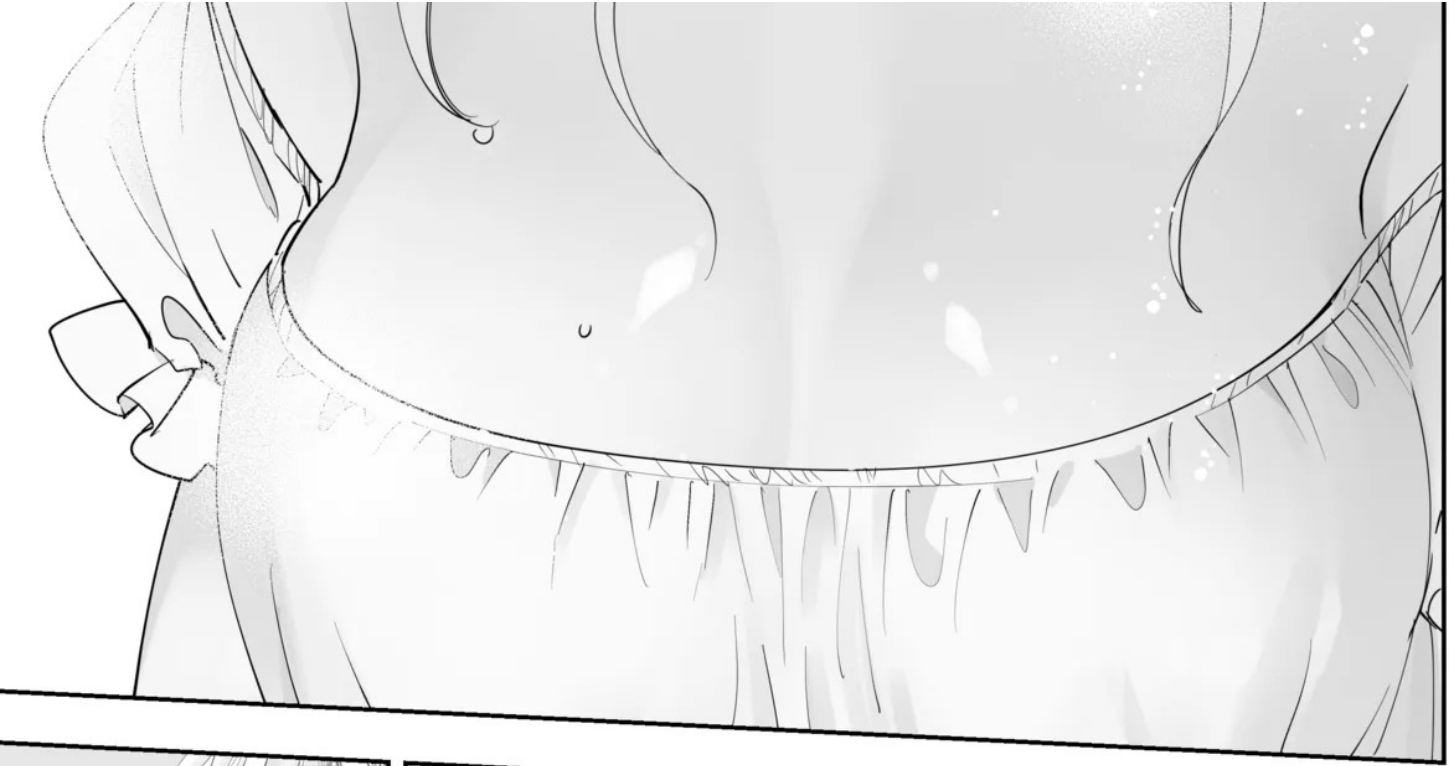
同期でありながら
早々に上官に収まる
抜きん出た才能と人徳

颯爽と前を歩む
彼女を追うのに
嫉妬より憧憬が勝った





待たせたな...





良く
ないよ

君には
健やかでいて
私を助けて
もらわなくては



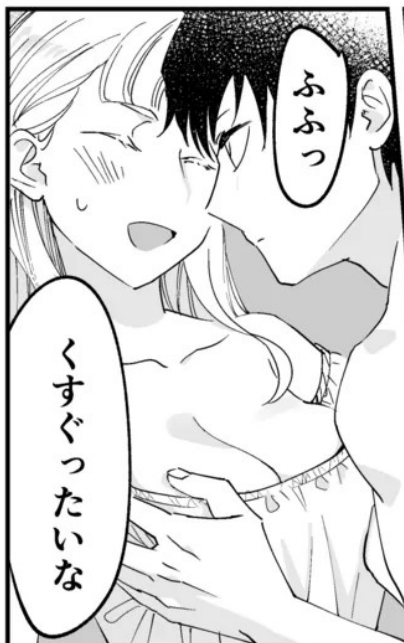
その信頼に
応えようとする
裏で

俺がどれだけ
想っているか
知ったら

どれだけ醜い欲望を
抱えているか
知ったら

だろう？

こんなふうには
ほほ笑んでは
くれまい



そろそろ
先に進んでいいぞ
という圧を感じるし
俺だって直に
さわ：触りたいが



どうしたら...



さっきは想像だけで
暴発しそうで
一発抜いてきた
というのこ...

他家のシャワーで
申し訳ないが



170
ん



ぎゅ



凛々しい彼女が
時折見せる
こうした
やわらかさが

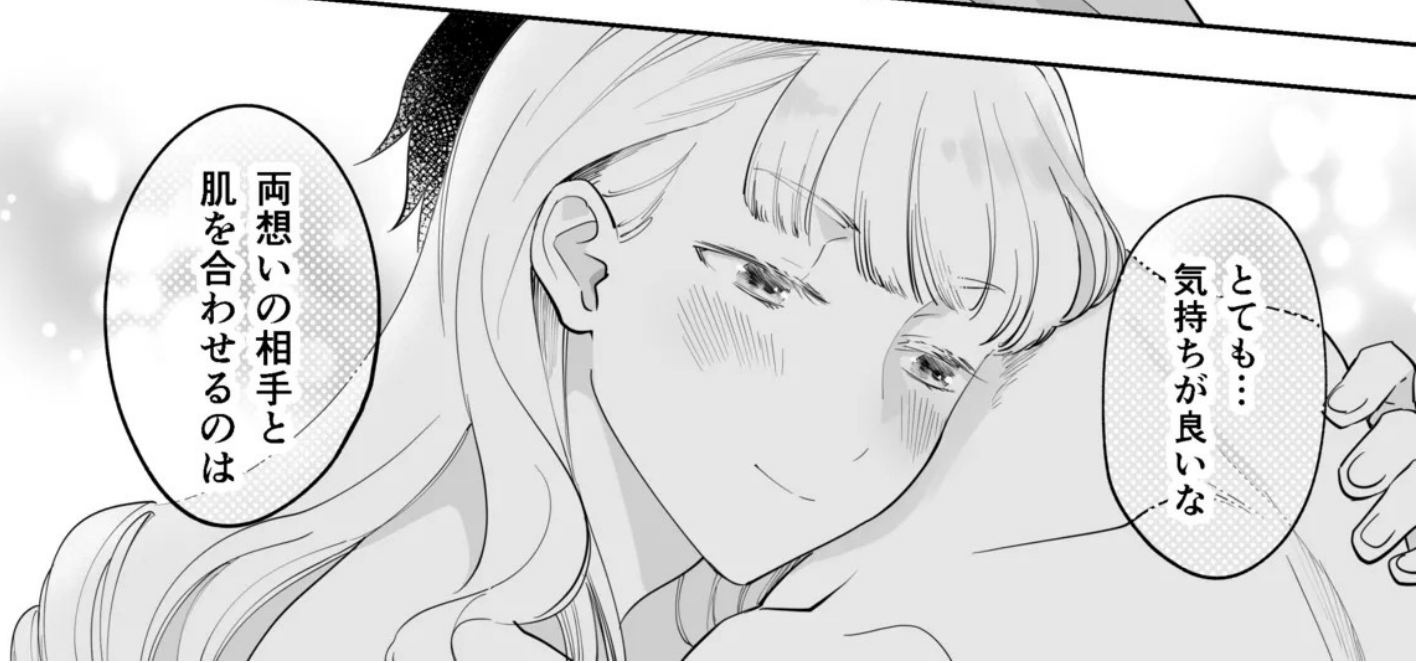
そう

何よりも……



とても……
気持ちが良いな

両想いの相手と
肌を合わせるのは





なんだって？

仲の良い友人と
キスしたり
お風呂で触り
あったりしたが
こんな気持ちには
ならなかったな…

キャッ
キャ

?????
友人？



君は良く
なかったか……

しゅい

気持ち
良いとも
!!!!



いや待て

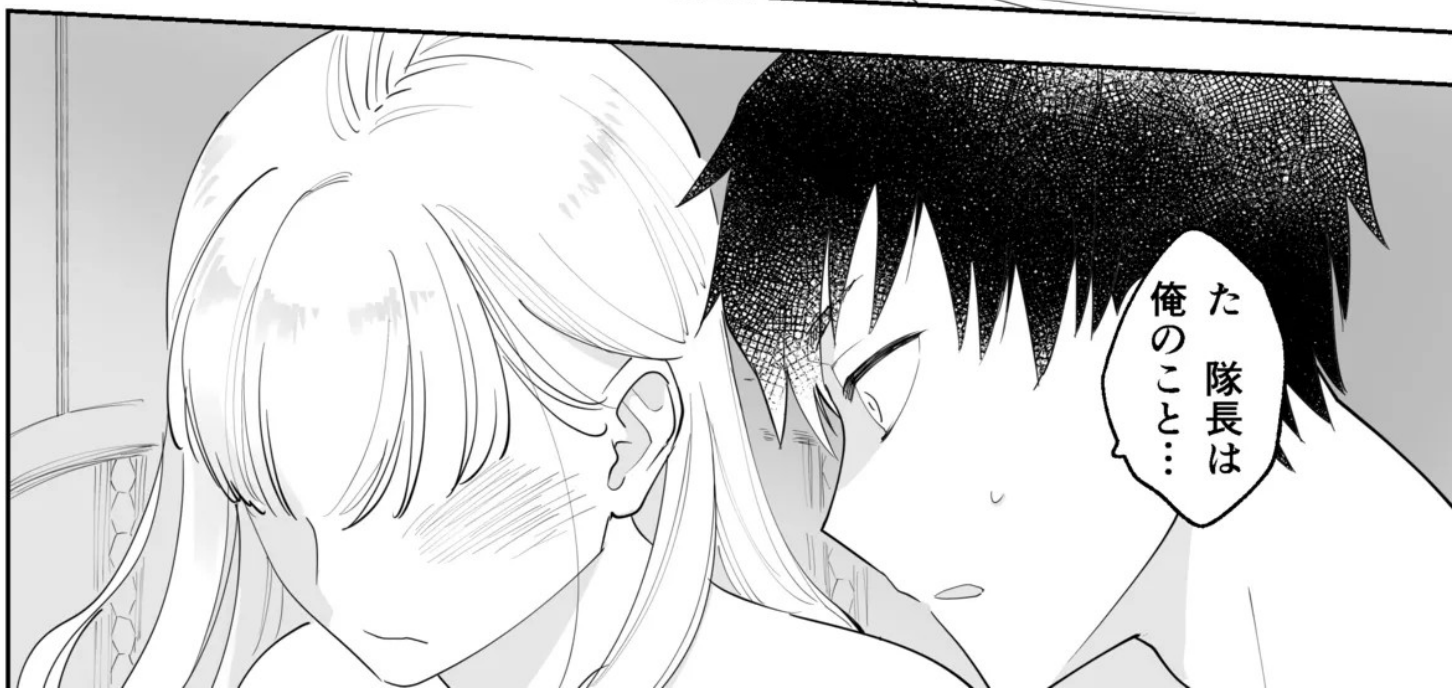
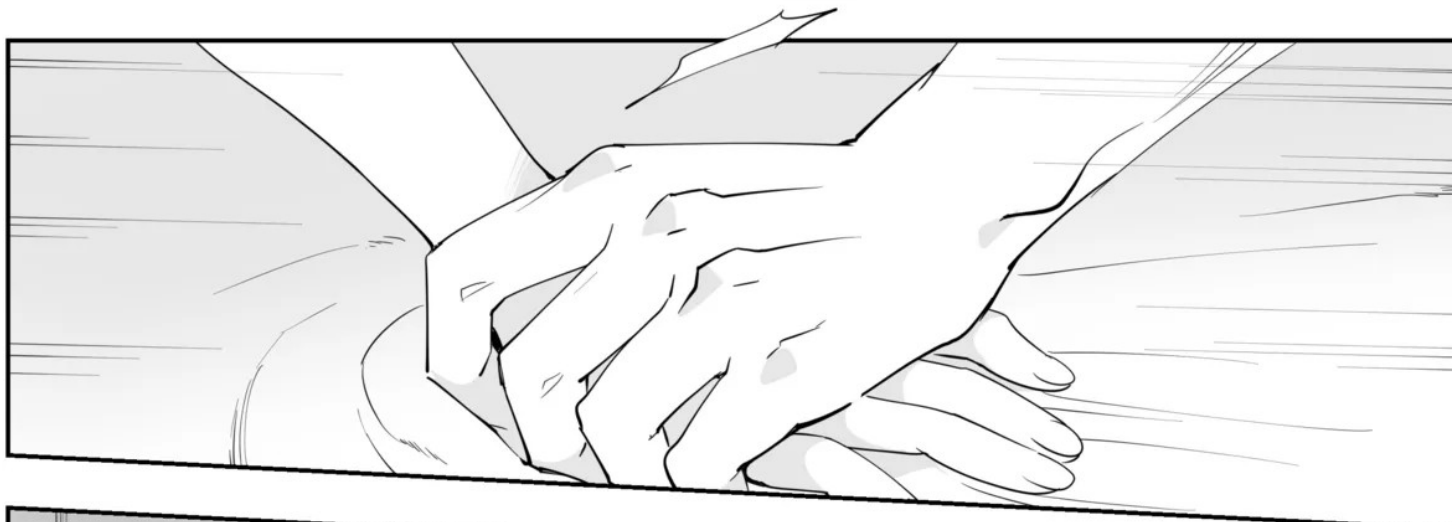
待て

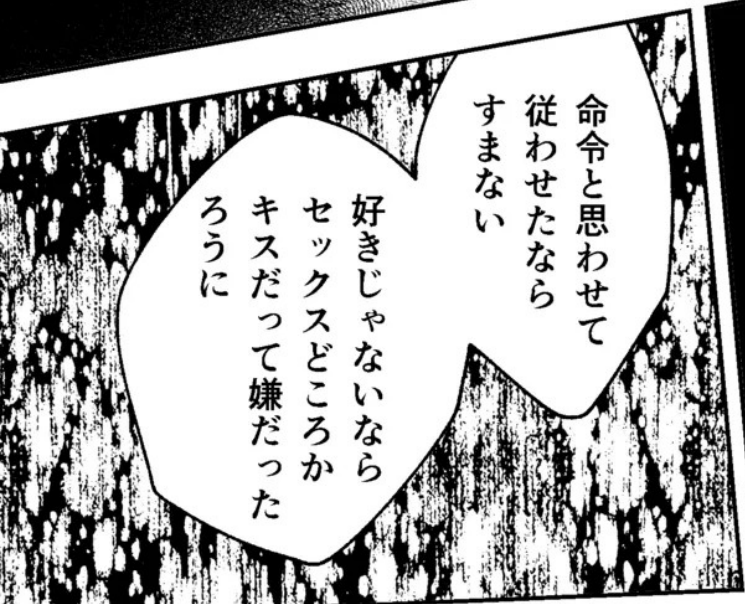
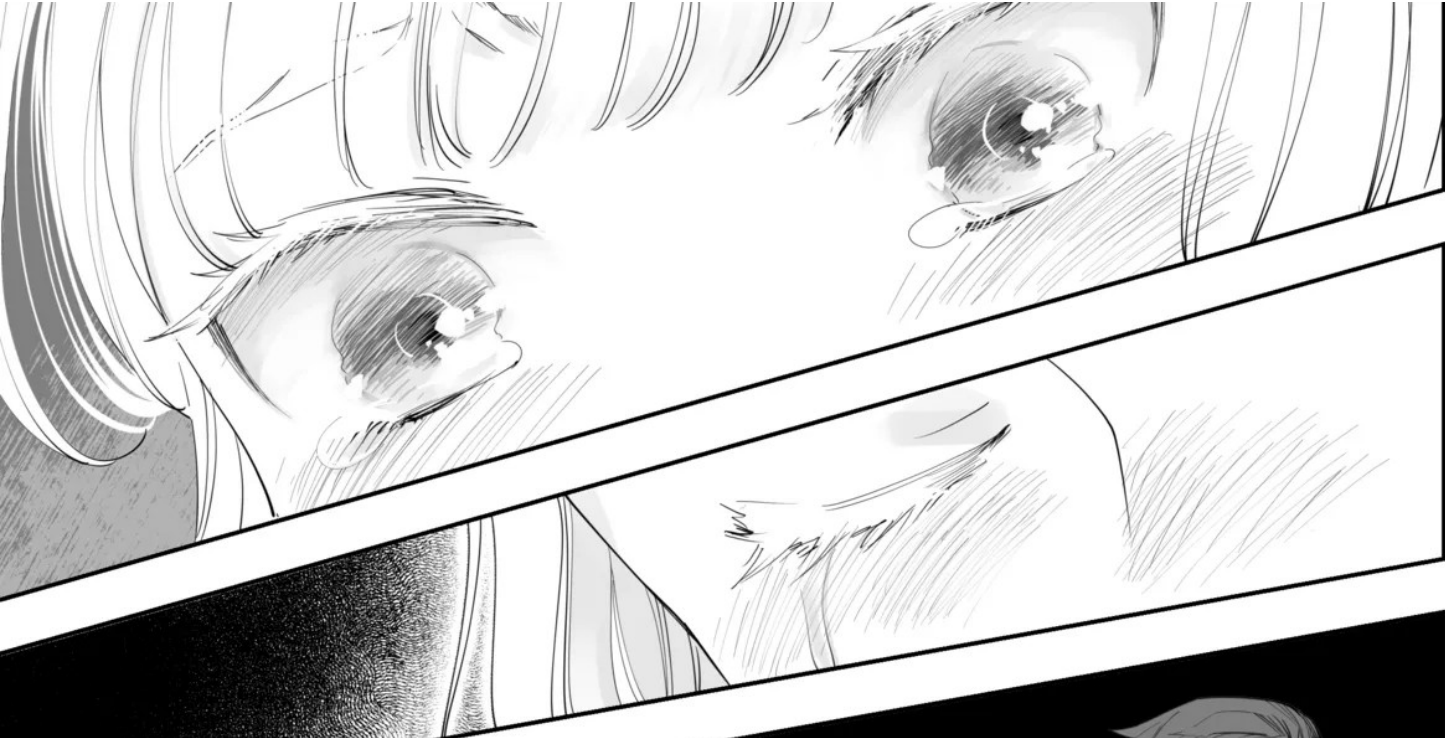
あっ



そこじゃない

両想いだと？





命令と思わせて
従わせたなら
すまない

好きじゃないなら
セックスどころか
キスだって嫌だった
ろうに



ごめん……
好きだ



ちがう

ちがうんだ

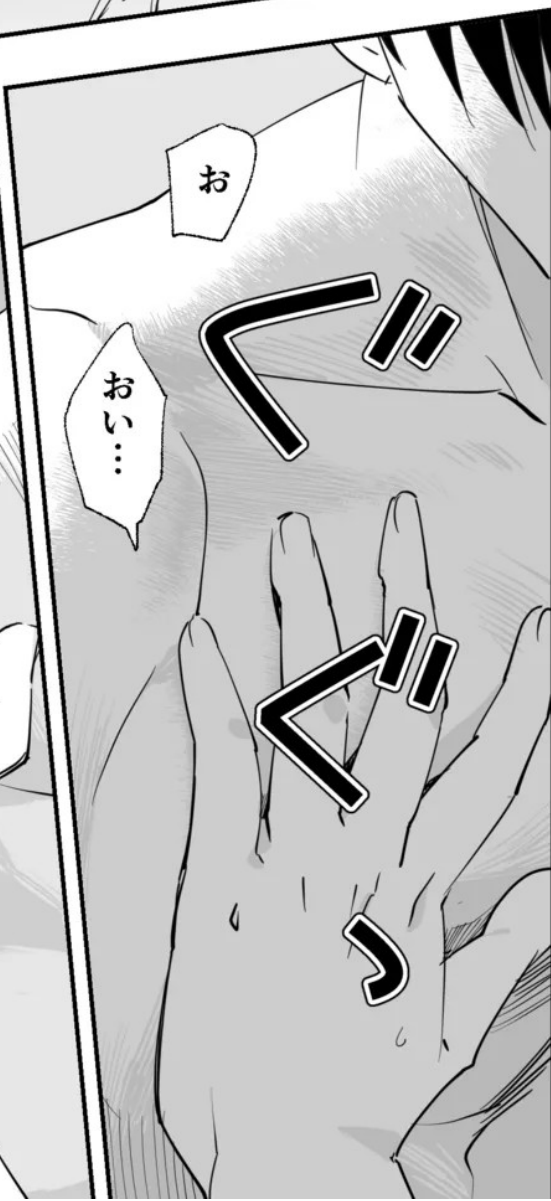
無理させてごめん……

わかったって……
違ったんだろ

ちがう

ち







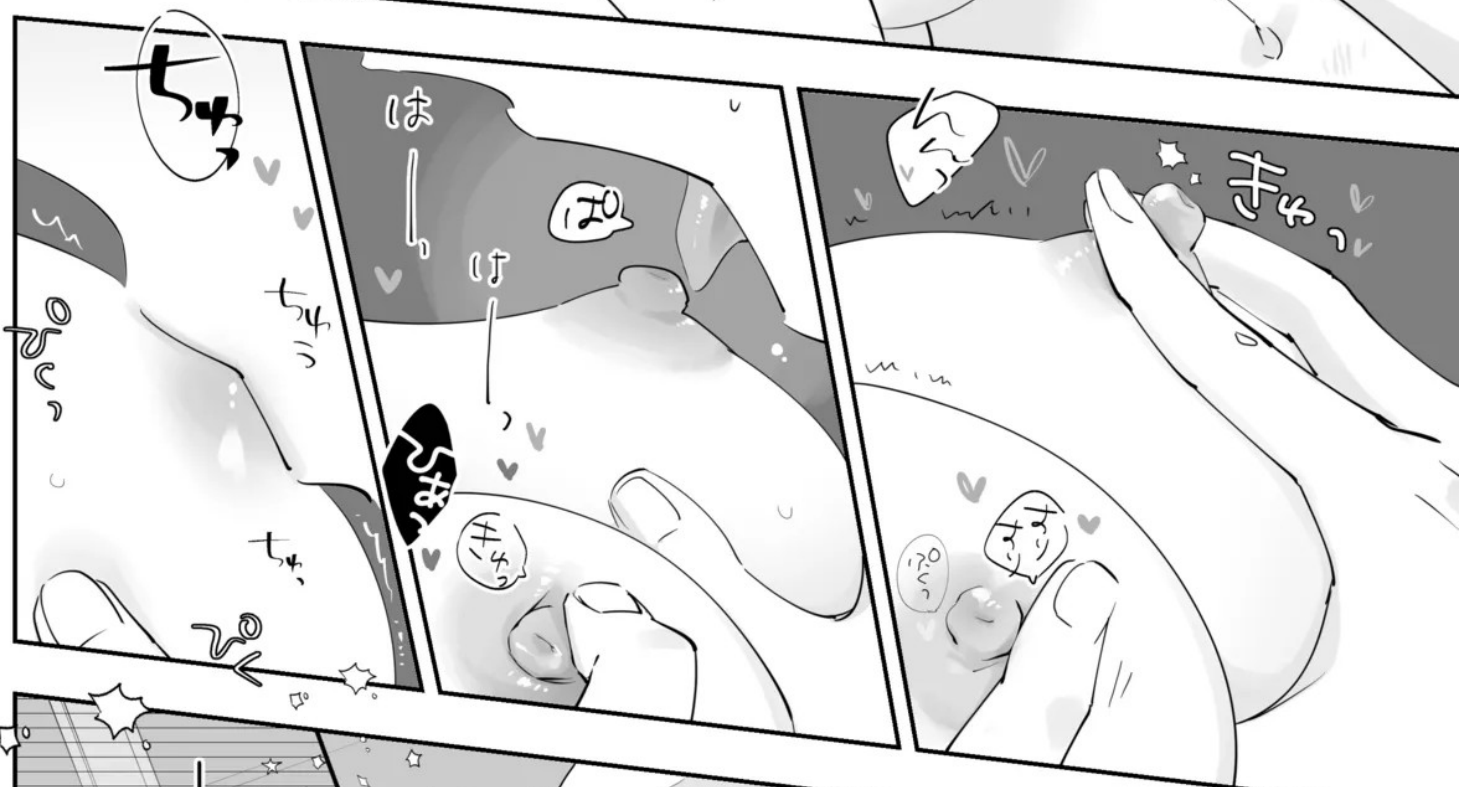


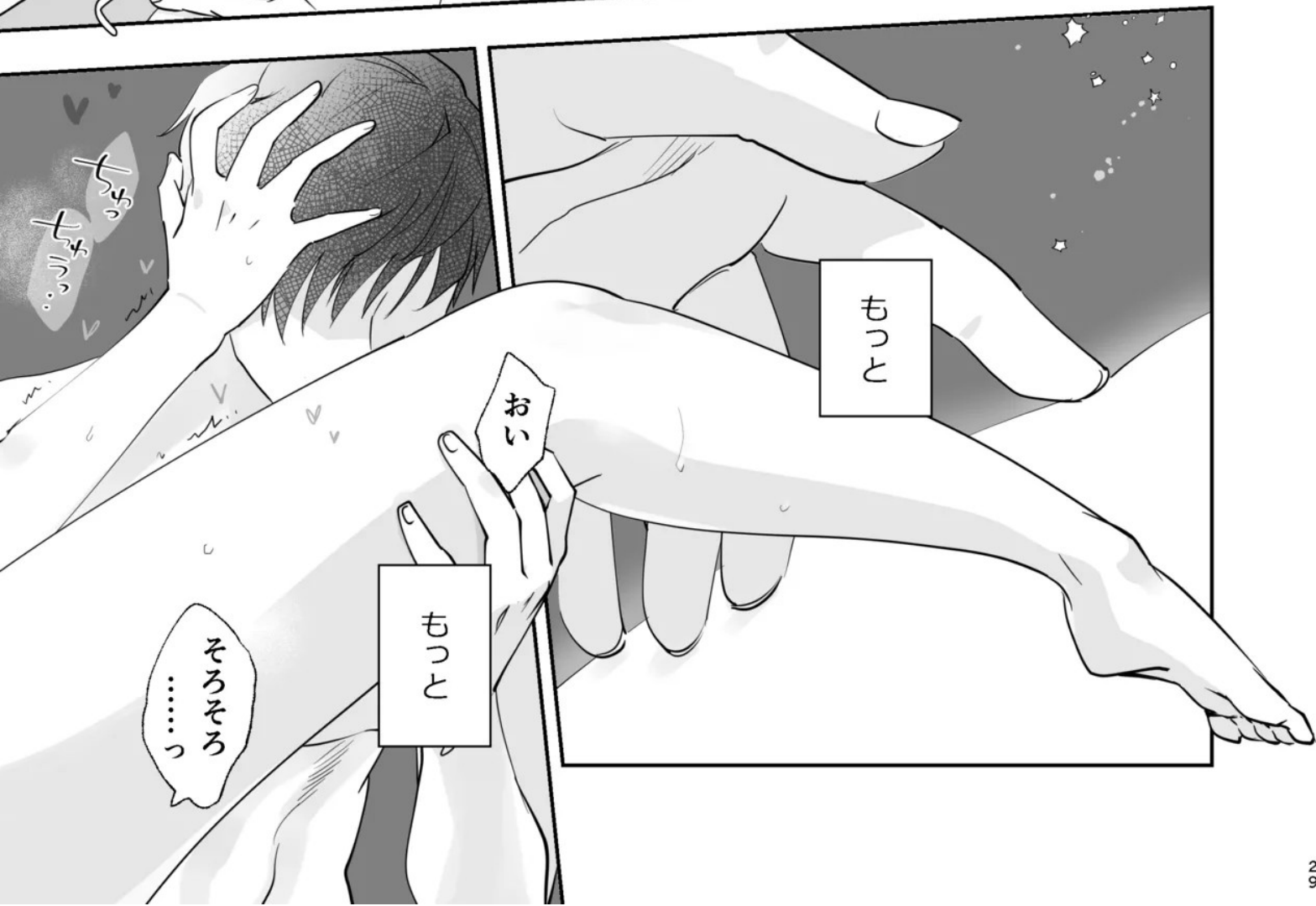




知らなければよかったと

S/







場所が
よくわからない...

こういうことは
初めてなので...



こら！ わざと
焦らしてるだろ

かなあ

いや...すまない
言いそびれていたが



そっ
そうか...

私に純潔を
捧げてくれて
うれしいぞ

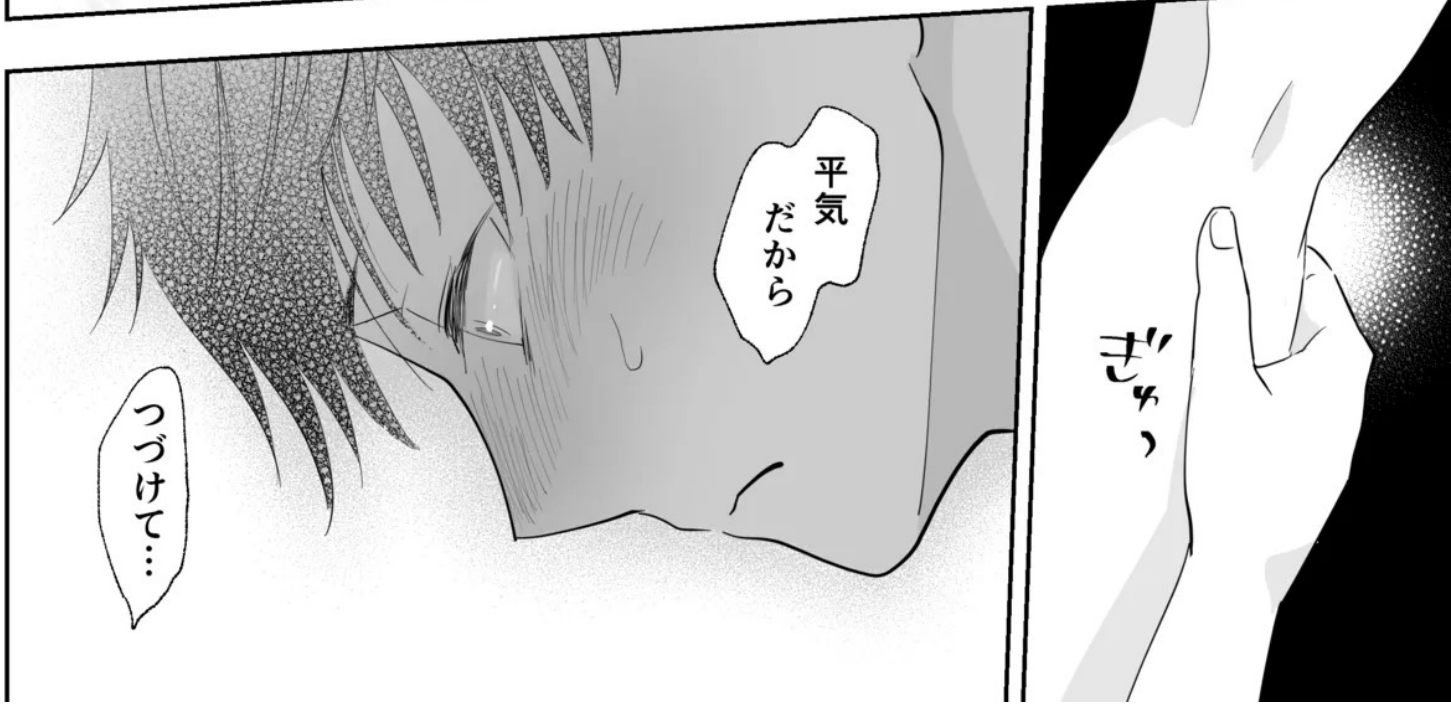
くっ！

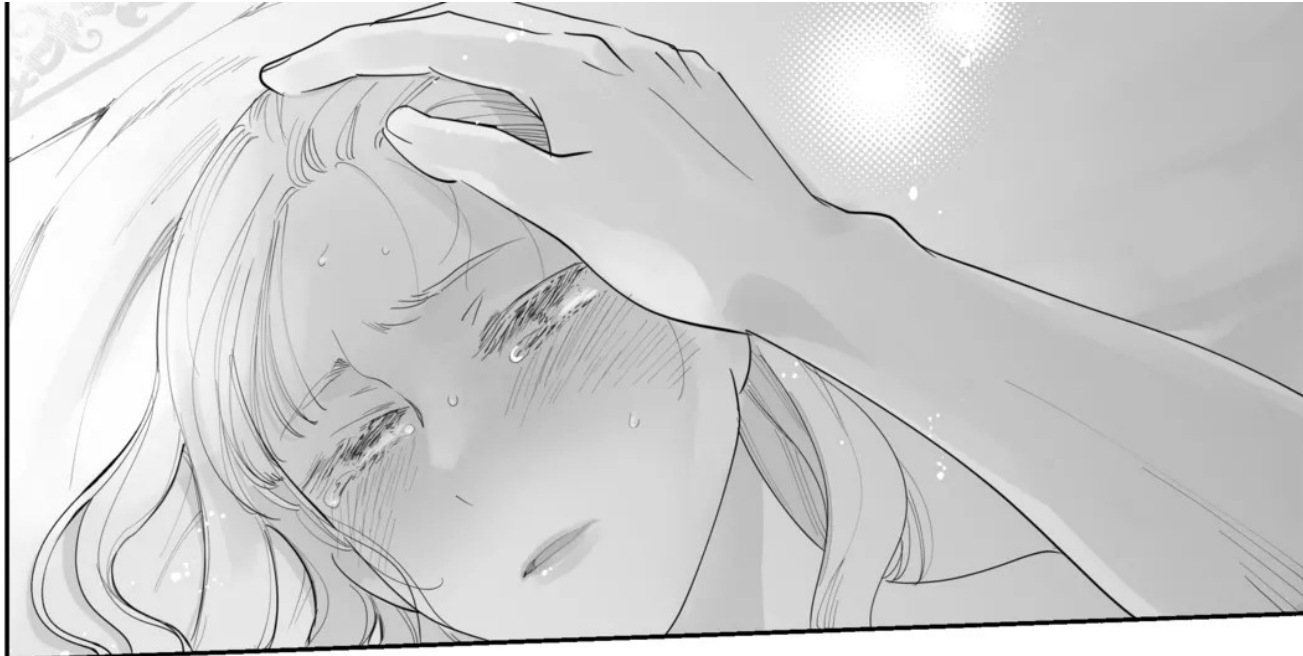
お互い初めてなら
失敗も想定内だ
恐れずやってみよう！



ここだ...







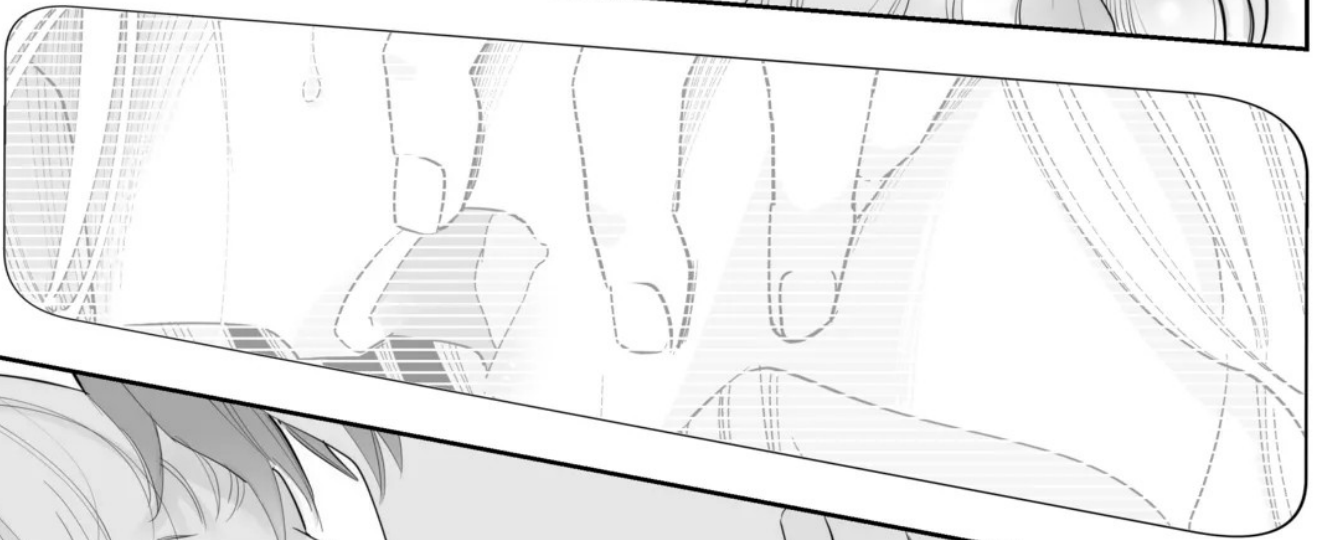




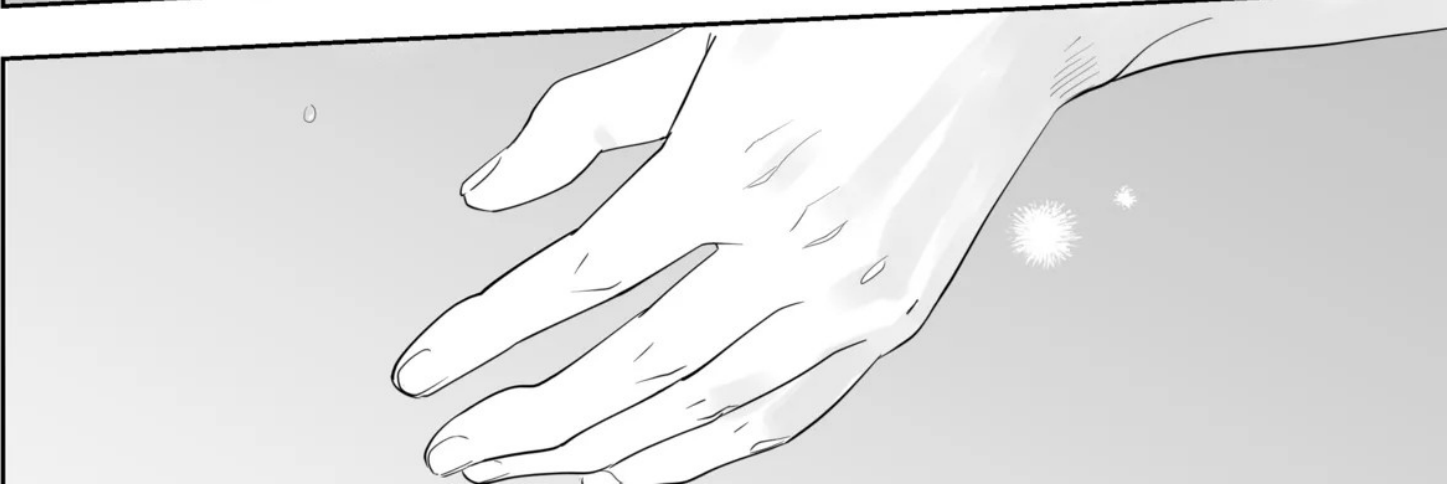
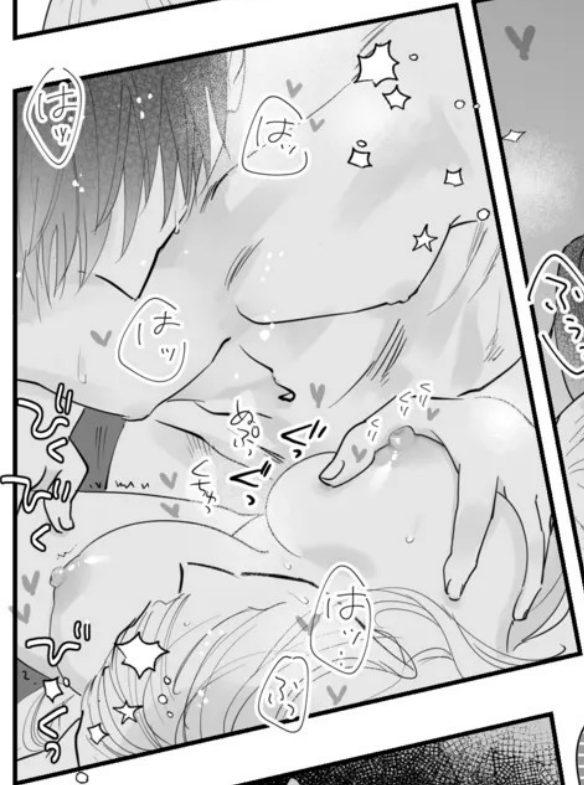
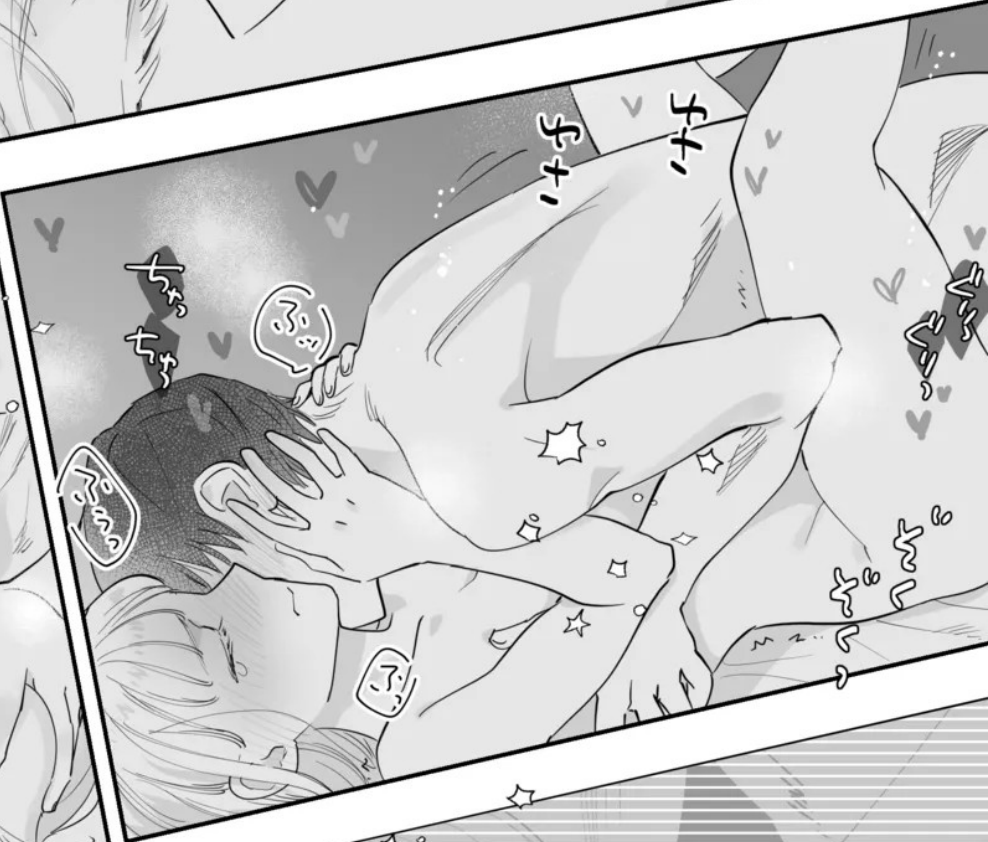
これからも
たくさん
呼んでくれ

ふふっ

私も
たくさん
返すから
……

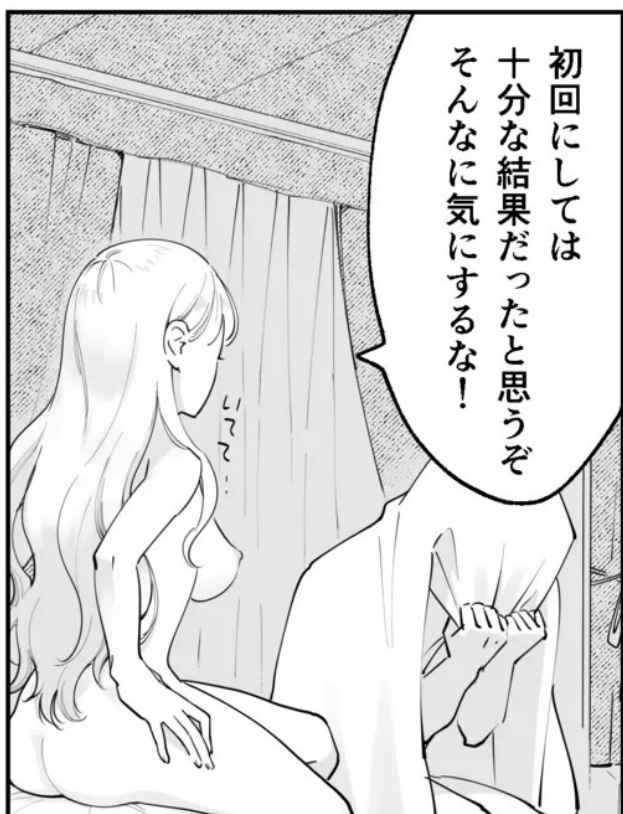


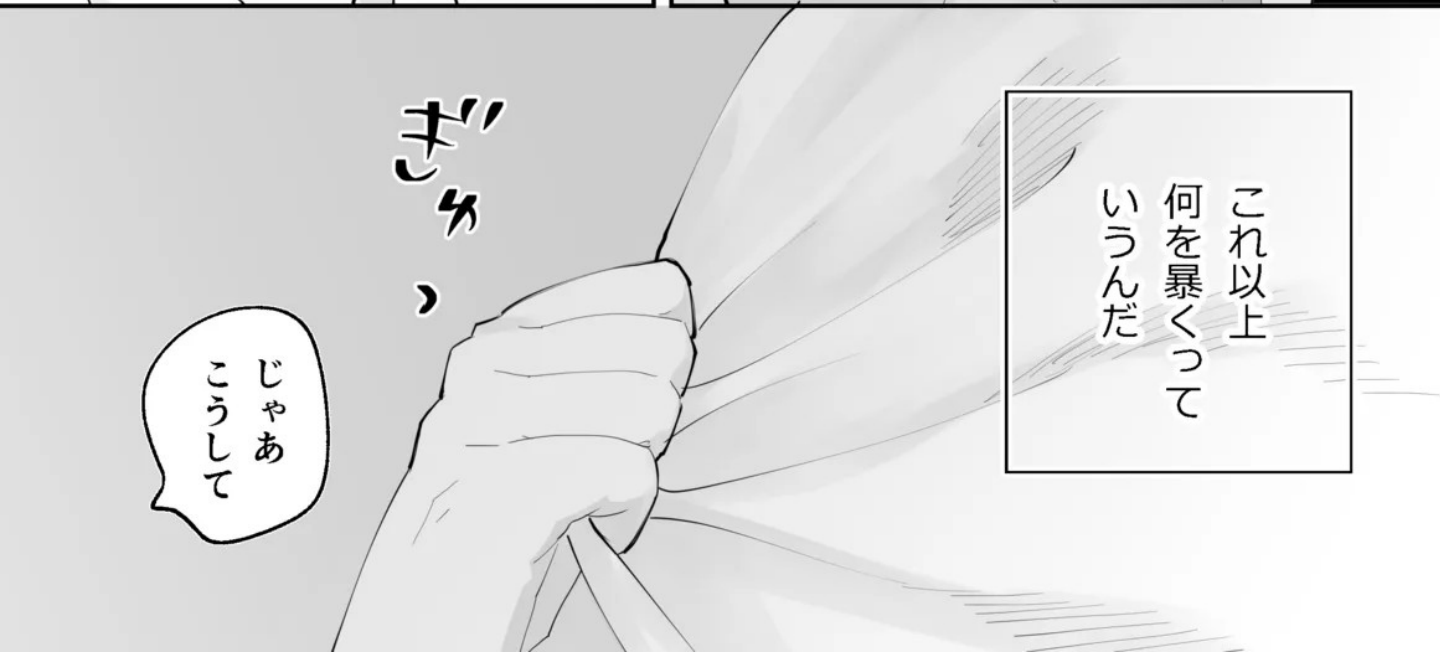
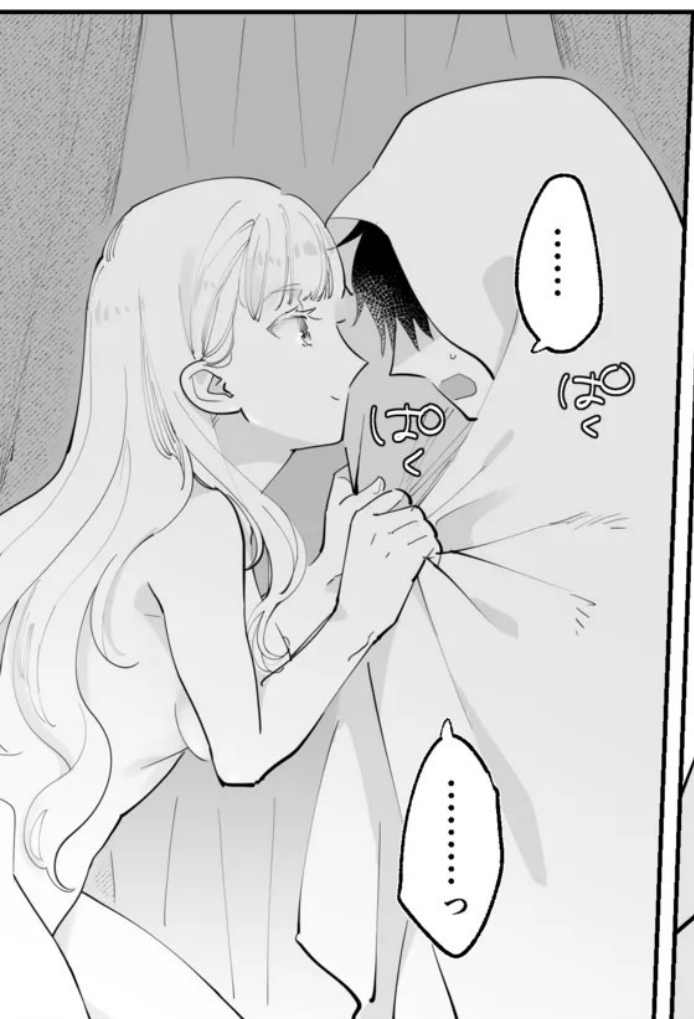
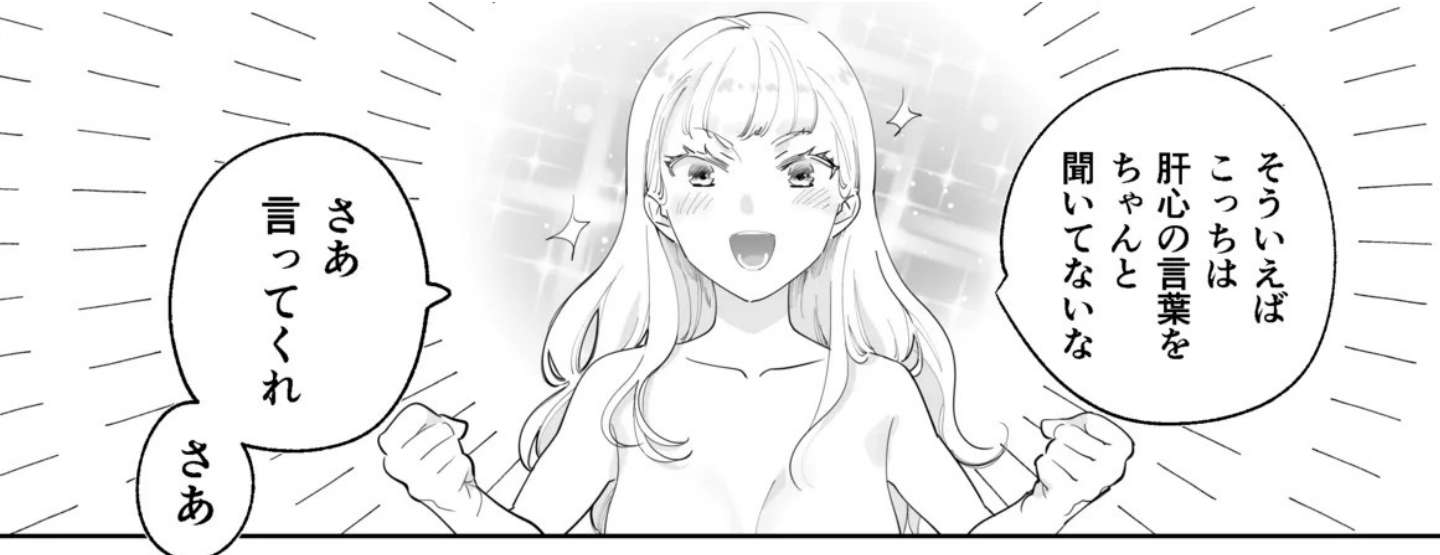
こんな声で
名を呼んで





こんな顔
するんだな









おしまい

最後までお読みいただきまして、まことに有難うございました。
好みのド真面目たちがイチャついてるところが見たいあまり
勢いで初めてR18漫画を描きました。
童貞が片思いをこじらせて限界だったので
表紙のコルセット脱がしシーンを入れるのを諦めました。
服を引き下ろすので精一杯。
そして毎日見つめ続けた二人の名前を私は
まだ知らない…

『絶対知られたくない』

山吹しろと(Rosa_ceae)202107

✉ yamabukishiro@gmail.com

✎ pixiv/69910322



無断転載禁止

Repost is prohibited.



この気持ちを知られるなんて
とんでもない！



隊長補佐



隊長

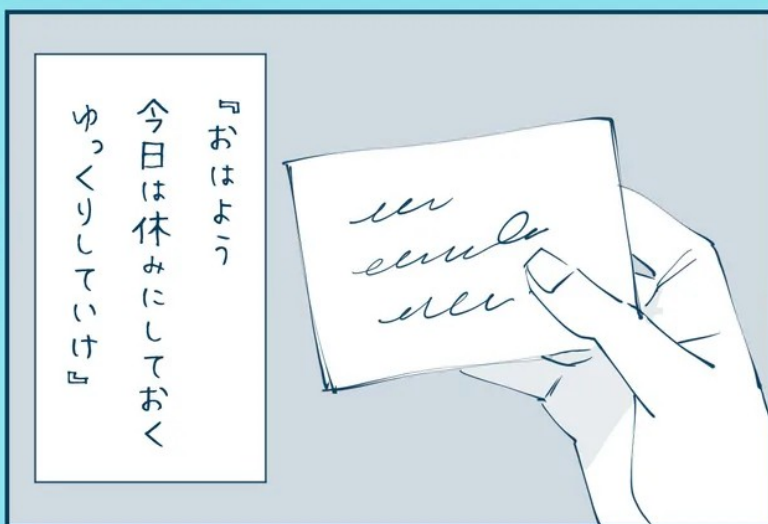
女神のような隊長に重めの片思いをしている隊長補佐。
罪悪感を抱えつつも毎夜脳内で想像しまくっている。

そんなある夜、本人から清々しいまでの直球でお誘いを
くらってしまう。つい大したことないで受けてしまう
が、実物の圧倒的存在感にはたしてこの童貞は…!?

ドまじめ騎士男女のよくある平和でアホな一夜。















相合傘して帰りました

本編で一番このふたりの一番おいしいところを描いたぞ
もう何を描いても蛇足ですし何も考えつかないね！！と
思っていたが、やはり考えるとニコ…としてしまい
結局描きました。読んでくださって有難うございます！



pixiv
69910322



ci-en
10763

↑何か描いた時やお知らせはこちらに投稿しています。
またお会いできると嬉しいです。

山吹しろと(Rosa_ceae)

